

平成 30 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例を挙げながら筋道を立てて話すこと。 ・日常で使われている慣用句の意味を理解し、使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や内容に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く学習。 ・相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる活動。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方の理解。 ・十進位取り記数法で表された数の大小についての理解。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形領域の指導の充実。 ・あきらめずに解決の方法を考えたり、日常の生活に活用したりする活動。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積作用や骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念の理解。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する学習。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」と答えていた。 ・算数や理科の授業の内容がよく分かると答えた児童の割合が高く、家で学校の宿題をしている児童の割合も高かった。 ・一方、授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うや、算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると回答する児童の割合が低かった。
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・児童が共に学ぶ楽しさを実感して、充実した学校生活が送れるように学習環境の整備に努める。 ・引き続き分かりやすい授業を心掛けるとともに、課題の解決に向けて、自分で考えて取り組む機会を増やし、問題の解き方が分からないときは、根気よく取り組めるよう発問や助言の仕方を工夫する。

3 家庭(地域)へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<p>子どもたちが喜んで登校し、意欲的に学習に取り組み、必要な学力を身に付けることができますよう、今後とも学校の教育活動へのご理解、ご協力と、子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。</p>
--